

事業名	奨学資金貸付事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	教育総務課		奨学資金貸付事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	総務係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	412	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業 期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり			終了年度		事業分類	融資・貸与事業
	施策	2	安全で安心して学べる教育環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	高等専門学校（4・5年に限る）、大学（大学院除く）、専修学校へ進学予定者または在学者に対して、経済的理由により、就学が困難な学生に対して正規の修業期間に限り奨学金を貸与する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	本市在住の若者が大学等での修学を円滑にする。
-------------------------	------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
新規貸与者数	人	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・令和 5 年度追加募集を行い 2 人の貸与を決定し、令和 5 年度新規貸与者を 2 6 人とした。令和 5 年度は 8 7 人（新規含む）へ奨学金の貸与を実施した。 ・令和 6 年度の新規奨学生の募集し、新たに 1 5 人を内定した。その後 1 人辞退した。 ・大学等卒業者から貸与奨学金の返済を受け、奨学資金貸付事業の特定財源を確保し、返済滞納者への督促を行った。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
奨学金貸与者数	人	72	83	87
事業費計	千円	40,340	47,480	50,200
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円	40,340	47,480	50,200
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	貸与を希望する者26名全員に貸与を決定し、進学に伴う経済的な不安が解消された。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
新規貸与者数	人	16	28	26	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数0指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数1指標
指標全体	効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

貸付金の財源となる返還金の未徴収金が増加しているため、滞納対策の強化が必要。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☒ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
近隣他市の滞納対策の情報を取得し、効果的な徴収方法を研究し、実施する。